手動 引張試験機 0-490N ダイヤル式 WPM-490N

Model No. WPM-490N



SPECIFICATIONS

試験範囲	0-490N
在庫タイプ	5,10,20,30,50
グリップスリッパーストローク	70mm
クランプペンチストローク	9mm
チャック調整	10mm
重量	20kg
寸法	600*185*190mm

WPM-490Nは、電線、端子、コネクタの引張力を測定する手動式水平試験機であり、0-490 Nをダイヤルゲージで読み取る。グリップストロークは70 mm、クランプ爪のストロークは9 mm、チャック調整量は10 mmである。質量20 kg、外形寸法は600 x 185 x 190 mmである。

ハーネス工場の引張試験はばね秤で行われることが多く、読み値は作業者が引く速さに左右される。490Nは試料をクランプブロックとスライドキャリッジ上のワイヤグリップの間に固定し、ベッド側面のハンドルでキャリッジをガイドに沿って移動させ、ダイヤルでピーク値を保持する。クランプ爪は9　mmのストロークで端子バレルまたは絶縁を挟み、チャックは10 mmの範囲で調整して端子幅の違いに対応する。

本機は2機種のうちダイヤル式である。WPM-ADL-0.5KNは500 Nをデジタルゲージで測り、分解能0.01 N、精度±0.5 %である。490Nは機械式ダイヤルで読み、電池も充電も不要である。現場の確認にはダイヤルで足り、公差に対して記録値を残す場合はデジタル機を選定する。

主な特長

1. 0-490 Nを機械式ダイヤルで表示し、引張後のピーク値を読む。電池も電源も不要である。

2. 70 mmのグリップストロークにより、圧着端子を絶縁から引き抜くだけの移動量を確保する。

3. クランプ爪は9 mmのストロークで、端子バレルまたはクランプブロック側の電線を挟む。

4. チャック調整量10 mmにより、ジョーを替えずに端子幅の違いに対応する。

5. ベッド側面のクランクとボールハンドルでキャリッジを駆動するため、引張速度を作業者の手で管理できる。

6. 600 x 185 x 190 mmのベッドに20 kg。ベッドにはクランプブロックを移動できる溝を設ける。

技術仕様

項目	仕様
型式	WPM-490N
装置形式	手動式水平引張試験機

項目	仕様
試験範囲	0-490 N
在庫区分	5、10、20、30、50
グリップ滑りストローク	70 mm
クランプ爪ストローク	9 mm
チャック調整量	10 mm
外形寸法	600 x 185 x 190 mm
質量	20 kg

用途

— 圧着引張確認：端子と電線の引張力をダイヤルの下限値に対して検証する。

— 電線引張：機器内配線や建設用電線の導体破断力を測定する。

— コネクタ保持力：小型コネクタのハウジングと電線の保持力を測定する。

— 溶接引張：溶接スプライスや超音波接合部を破断まで引張る。

— 受入検査：購入した圧着リード線の抜取り引張試験。